

## 統一地方選にあたって ママとね♡からの質問

宮沢正美氏

### 【保育について】

待機児童解消のために、今後、子育て支援新制度下で小規模保育、保育ママ制度の充実が期待される。そのためには、保育士や保育ママの確保および教育が今後重要であり、大都市では、有資格者の囲い込み等の競争もおきていると聞きます。

(1) 当自治体でより多くの保育有資格者に働いていただくために、今後どのような施策が必要と思いますか。

〈回答〉

新たにスタートした子ども・子育て新制度のなかで、保育士のニーズも確定していくものと思われる。

(2) この地域で、小規模保育や保育ママ制度の充実を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

〈回答〉

小規模保育や保育ママ間のネットワーク化を図り、情報交換や支援体制を強化する必要がある。

(3) 保育ママや保育補助員の養成・教育について、具体的にどのような仕組みが必要と考えますか。

〈回答〉

県では、保育士等確保対策事業費、保育体制強化事業助成費を予算化した。

これらの制度を活用すべきである。

### 【男性の育児参加】

男性の育児参加のきっかけとして、男性の育児休暇制度は非常に重要と思われるが、現状ではなかなか取得が進んでいない。男性の育休取得についてどう考えますか。該当するものに○をつけてください。

A 育児休暇取得をもっと推進すべき

〈回答〉

企業・事業所等の理解が不可欠であるので、「社会全体で子育てをしている。」という意義の醸成が必要である。

### 【母親の社会参加】

現在の社会制度では、小さい子を子育てしながら社会復帰することがなかなか難しい状況です。出産後の女性の社会参加について（就職に限らず）、あなたはどのような形が理想と考えますか。また、その実現のために、この地域社会はどのようになっていくべきと考えますか？

（４）理想のカタチ

〈回答〉

女性の社会参加を否定するものではないが、子育ても尊い仕事です。

「子どもの幸せ」を中心とした人生設計をすべきと思います。

（５）実現のために地域社会がどうなるべきか

〈回答〉

健やかな子育てを社会全体で支える「保育保険制度（仮称）」の創設を検討すべきである。

【育児の孤立化】行政の様々な取り組みにもかかわらず、幼児虐待の件数はなかなか減少しません。育児の孤立化を防ぐために、行政および民間（地域）はそれぞれどのような仕組みをもつべきと考えますか？

（６）行政

〈回答〉

なお一層の児童相談所の体制強化が望まれる。また、虐待予防関係機関（学校・医師・警察等）の連携強化も必要である。

（７）民間

〈回答〉

地域社会の絆を深め、家庭の孤立化の防止に努めることが大前提となる。また、育児サークル等の活動を支援することも大切であるとする。